

## 第 57 回 日本人間ドック学会 (2016 年 8 月)

### 『MCG (Multifunction Cardiogram) 検査』虚血性心疾患リスク検査を導入して

#### 【発表】

社会医療法人生長会ベルクリニック 溝上祐香、片岡晃子、岩本由美子、福岡美花、藤原美紀、藤川亜紀、岡部佳代子、小林亮(診療部)

#### 【背景】

MCG 検査は安静時心電図 (以下 ECG) を約 10 分間記録し、その心電情報をコンピュータ解析し、約 4 万人のデータと照合して虚血性心疾患のリスクを解析する検査である。

今回、MCG スコア判定と虚血性心疾患の危険因子を比較検討したので報告する。

#### 【対象・方法】

2015 年 4 月～2016 年 2 月のドック受診者中、MCG 検査を実施した 62 名を対象とした。

MCG スコア判定の A を陰性群、B・C を陽性群とし、ECG と MCG スコア判定をそれぞれ虚血性心疾患の危険因子(年齢、家族歴、喫煙歴、最高血圧、最低血圧、BMI、腹囲、FBS、HbA1c、T-CHO、LDL-C、TG、HDL-C)で比較、MCG スコア判定と虚血性心疾患の危険因子の数を比較検討した。

#### 【結果】

ECG と虚血性心疾患の危険因子を項目別に比較した場合、有意差はみられなかった。

MCG スコア判定と虚血性心疾患の危険因子を項目別に比較した場合、年齢、血圧、BMI、腹囲、FBS、HbA1c に有意差がみられた。

また、MCG スコア判定と虚血性心疾患の危険因子の数を比較した場合も、有意差がみられた。

#### 【考察】

MCG 検査では ECG で把握できない加齢や肥満、高血圧、糖尿病による心筋への僅かなダメージや負担を検知できると考えられる。

今後虚血性心疾患の危険因子数が多い受診者は MCG 検査を行い、高リスクであれば他の心臓病検査や生活習慣の改善へ誘導していく必要が示唆される。

以上